

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 1年生①																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ビジネス実務Ⅰ	社会人としてふさわしいマナーであったり、言葉遣いや身だしなみなど、第一線で活躍できる人材になるべく、人間力も高めていく。	1通	60		○	△		○		○			
○			Excel実習	エクセル基礎を学び、簡単なワークシートの作成とデータ入力を行えるようにする。表計算・ビジネス図表に関する基礎を身に付ける。	1前	60				○	○		○			
○			健康科学	「健康」の概念・運動の効果・原則などについて知識や関心を高め、スポーツ活動・生涯スポーツの重要性について学ぶ。	1後	15		○			○		○			
○			生涯スポーツ	バレーボールやバドミントンなどの技術の向上を目的としながら、スポーツ文化が形成されてきた歴史的・社会的背景について理解を深める。	1後	45		△		○	○			○		
○			音楽Ⅰ	声楽の基礎と、読譜力をつけることを主とする。ピアノ、声楽などに必要な音楽理論の基礎を学ぶ。感性を育む音楽鑑賞を平行として学ぶ。	1通	120		△		○	○				○	
○			図画工作	造形・色彩研究・デザインなどの学習を通して、幼児への造形教育に必要とされる基礎的な理論・技法・表現法の習得を行う。	1通	60		△		○	○		○			
○			教育心理学	教育現場で必要となりうる心理学の基本概念を学ぶ。これにより、教育実践にかかわる問題を解決しようとする態度を養う。	1前	45		○			○		○			
○			健康	子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それらにかかわる環境について理解を深める。	1後	15		○			○		○			
○			人間関係	子どもの人間関係の形成を援助し、促進するための知識を獲得する。自立心を育て、人と関わる力を養うことについて学習する。	1前	15		○			○			○		
合計				科目	単位時間(単位)											
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
								1学年の学期区分			期					
								1学期の授業期間			週					

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 1年生②															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			児童文化	児童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握させ、実践的な児童文化の理解者になれることを目的とする。	1前	30		○			○	○			
○			社会福祉	社会福祉の概念や歴史、生活問題、わが国の政策動向の変化と支援をめぐる今日的課題、社会福祉政策等、社会福祉全般に関わる理解を深める。	1通	30		○			○	○			
		○	保育原理	保育の対象となる乳幼児の特性や保育の思想・制度などの概観を通して、保育に関する基本的な知識を培う。	1通	60		○			○	○			
○			社会的養護	養護の歴史、また児童福祉法改正後の児童のあり方、問題点に焦点をあて、家庭養護と社会的養護との相互関係を学習する。	1通	30		○			○	○			
○			教育課程総論	教育・保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。	1前	30		○			○	○			
○			教育方法論	保育者として必要な保育指導の本質を学び、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に基づきながら指導のならいや指導方法などの知識を深めていく。	1前	30		○			○		○		
○			保育内容総論	保育所保育指針に基づく保育の基礎及び保育内容を理解するとともに、保育の全体的な構造を理解する。	1後	15			○		○	○			
○			保育実習指導Ⅰ	養成教育課程において習得した知識や技能を基盤として、これらを総合的に関連付ける力と、保育実践に応用する力を養う。	1後	45			○		○		○		
○			リトミックⅠ	遊びを通してリズム感や想像力、表現力を身に付ける。歌ったり踊ったりしながら技術を磨いていく。	1通	30		△			○	○	○		
合計					科目		単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 1年生③															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペン字	保育園などでは、連絡帳を書く機会も多く、手書きをすることが日常的である。そのために、きれいで丁寧に書くよう心がけることを指導する。	1前	15		△	○	○				○	
○			英会話 I	英語の基礎的な単語、文法を学び、会話にすぐ使える基本的な構文を覚え、実際の会話に取り入れることで、英語表現の幅を広げることを目指す。	1後	30		○			○		○		
○			子どもの保健 I	変化の大きい成長過程に関わる上で必要となる知識を学習し、そこから子どもの思いや意欲を大事にして実践活動ができる姿勢を養う。	1後	30		○			○		○		
○			教師概論	昨今の様々な教育（保育）課題について理解を深め、今求められる教師（指導者）像について考える。	1後	30		○			○		○		
○			教育実習事前・事後指導	幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解し、教育実習に対する意欲や課題意識を高めることをねらいとする。	1後	15		○	△		○		○		
○			乳児保育	成長発達と発達課題、保育の内容、また実践事例や実技を通し、保育の方法を学習する。	1後	30			○		○		○		
○			教育原理	教育の本質や目的、関連する法令や行政についての基本的理解を養う。また、指導要録や学級経営の方法や意義について考察を深めていく。	1後	30		○			○		○		
○			表現 I	授業では幼児の発達理論と幼児に適した実践的な造形表現の研究を基に作品制作を行う。（コラージュなど）	1通	60		○		△	○		○		
○			相談援助	保育士として必要な相談援助技術の方法及び内容について、人権の尊重、自立支援、秘密保持等の基本姿勢について理解する。	1後	15			○		○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 1年生④															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			発達心理学	保育実践にかかわる心理学の基礎知識を学ぶ。子どもの発達を理解し、子どもが人との相互的にかかわりで成長していくことを理解する。	1後	30		○			○		○		
合計															
													科目	単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 2年生⑤															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	家庭支援論	保育所のもつ子育て支援を重要な社会的役割として理解する。家族の変容と子どもを取り巻く社会的環境を見つめ、適切な相談、助言のあり方を学ぶ。	2前	30		○			○				
○			保育実習Ⅰ(保育所)	保育の実践を体験をし、保育士技術の体得・向上、自分なりの保育観を確立していくために行う。	2前	90				○		○	○		○
		○	保育実習Ⅰ(施設)	施設実習を通して、技術の実践および援助の倫理も学び、保育技術の体得・向上、自分なりの保育観を確立していくために行う。	2前	90				○		○	○		
○			日本国憲法	憲法とは何か(憲法の意味・近代憲法の原則・憲法規範の特質・現代憲法への展開)、日本国憲法全体の主要事項の内容を理解する。	2後	30		○			○		○		
○			ビジネス実務Ⅱ	社会人としてふさわしいマナーであったり、言葉遣いや身だしなみなど、第一線で活躍する人材になるべく、人間力も高めていく。	2通	85		○	△		○		○		
○			パソコン実習	就職活動に向けての自分のアピールポイントを相手に伝わりやすい形でパワーポイントで作成する。	2通	30				○	○		○		
○			プレゼンテーション技法	卒業研究・実社会において必要なプレゼンテーション技法を学び、実践する。	2後	30		△	○		○		○		
○			子どもの保健Ⅱ	保育における環境及び衛生管理、安全管理を理解し、施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。	2前	30				○		○		○	
		○	子どもの食と栄養	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。子どもの成長段階における食生活(食育)について理解する。	2前	30				○		○		○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 2年生⑥															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育課程論	保育課程（教育課程）の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。計画・実践・省察・評価・改善の過程について、その全体構造をとらえ、理解する。	2後	30		○			○		○		
○			環境	保育施設の構造・人間関係をもとに考察し、より良い子どもの遊びの空間を創造するための理論・技術を備えた保育士の育成を目的とする。	2前	15		○	△			○		○	
○			言葉Ⅰ	経験したことや考えたことなどを表現し、相手の話すことばを聞こうとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。	2前	15		○			○		○		
○			障害児保育	子どもの中には様々な障害により養育者や保育者とのかかわりが困難になってしまうことが生じることを理解する。	2前	30			○		○		○		
○			保育相談支援	保育相談支援の意義と原則について学び、保護者支援の基本を理解する。これらを基本に保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。	2後	15			○		○		○		
○			表現Ⅱ	この授業では、領域「表現」の主に「音楽表現」の分野における、子どもの発達と発達段階に応じた「あそび」について理解するとともに、保育者に必要な柔軟性に富んだ発想力・表現力を育成する。	2前	15			○		○			○	
○			幼児体育Ⅰ	乳幼児期の心身の発育発達を具体的に捉え、幼児期の「基本運動」を中心とした運動経験重要性について理解する。	2後	15		△	○		○			○	
○			卒業研究	各自の興味に基づいて、文献レポートをまとめ、皆で討論しながら問題意識を深める。その過程において、各自の卒業論文テーマを絞りまとめた後、発表する。	2後	75		○			○		○		
○			児童家庭福祉Ⅰ	子ども家庭福祉の問題を概観し、権利擁護や子どもを健やかに生み育てる環境づくりを重視した福祉政策を通して、児童家庭福祉の現状を理解する。	2後	30		○			○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 2年生⑦														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			児童家庭福祉Ⅱ	子どもの家庭の問題を概観し、権利擁護や子どもを健やかに生み育てる環境づくりを重視した福祉政策を通して、児童家庭福祉の現状を理解する。	2後	30	○			○	○			
○			青年心理学	人間が乳幼児期を経て、どのように成長していくのかを理解することで、乳幼児期に必要なスキル、関わり方、環境構成を学ぶ。	2前	15	○			○	○			
		○	言葉Ⅱ	子どもの言葉の発達の基礎を理解し、「言葉」の領域を歴史的変遷を学ぶことを通して、言葉を育てる環境構成、保育者の援助について学ぶ。	2前	15		○		○	○			
		○	音楽Ⅱ	音楽の基本と、読譜力をつけることを主とする。ピアノ、声楽などに必要な音楽理論の基礎を学ぶ。感性を育む音楽鑑賞を平行して学ぶ。	2通	90	△		○	○	○			
○			言語表現	保育者として言語表現技術指導の基礎的知識及び必要な技術を身に付け、実際に活用できるようにする。	2後	15	○			○	○			
○			図画工作Ⅱ	造形・色彩研究・デザインなどの学習を通して、幼児への造形教育に必要とされる基礎的な理論・技法・表現法の習得を行う。	2前	30	△		○	○	○			
○			リトミックⅡ	音楽に合わせて体を動かすことを通してリズム感や創造力、表現力を身に付ける。また、オペレッタの制作を体験的に学習することで現場につながる保育者の表現力や指導力・構成力磨いていく。	2通	30	△		○	○	○			
○			表現Ⅲ	子どもの持つ豊かな感性や表現する力を引き出すための指導力・援助法体得する事を目標とする。自分の身体を確認し、身体運動による表現の特質を知り、イメージと動きの関わりを体得し、創造性を豊かにすることを目的とする。	2前	15	△	○		○		○		
		○	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰの反省を踏まえ、保育の実践を体験し、保育技術の体得・向上、自分なりの保育観を確立していく。	2前	90			○	○	○			
合計														
					科目	単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 2年生⑧														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育実習指導Ⅱ	保育実習指導Ⅰで習得した知識技能を実践として生かせるよう演習し、保育実習Ⅱに向けた準備を行う。	2前	30		○		○		○		
○			教育相談	教育相談の意義と原則について学び、保護者支援の基本を理解する。	2前	30	○			○		○		
		○	教育実習(前期)	幼児や教師と生活を共にすることで、幼児や保育に関する知識をより確実なものにし、同時に教師の仕事について具体的に理解することを目的とする。	2後	90			○		○	○		
		○	教育実習(後期)	教育実習(前期)の振り返りを基に、幼児や保育に関する知識をより確実なものにし、同時に教師の仕事について具体的に理解することを目的とする。	2後	90			○		○	○		
○			保育・教職実践演習	改めて自分自身の課題を意識し、必要に応じて自分自身の不足している知識や技能等を補い、その向上を図ることを目的とする。	2後	30		○		○		○		
○			体育	幼児の身体発達を捉えながら、体を動かす楽しさを体験的に学習することを目的とする。保育者として運動・遊びの知識、技術を実践的に学び磨いていく。	2後	30	△		○	○		○		
○			保育実習指導Ⅲ	保育士として施設実習へ行く意義と目的を知り、福祉・保育の担い手になるために、人間観・保育観・福祉観を築きあげ施設の現状と役割を理解する。	2前	15		○		○		○		
○			保育実習事前事後指導(保育)	保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。また、実習の自己評価や総括を行い、新たな課題や目標を明確にする。	2前	15	△	○		○		○		
○			保育実習事前事後指導(施設)	保育実習(施設)の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。また、実習の自己評価や総括を行い、新たな課題や目標を明確にする。	2前	15	△	○		○		○		
合計			科目		単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 保育学科2年制コース) 平成29年度 2年生⑨															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育実習事前事後指導Ⅱ	保育実習（保育所）をはじめとした、他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支理解を深める。また、保育実践力を養い保育士としての課題を明確にする。	2前	15			○		○				
○			相談援助	保育士として必要な相談援助技術の方法及び内容について、人権の尊重、自立支援、秘密保持等の基本姿勢について理解する。	2前	15			○		○				
○			乳児保育	成長発達と発達課題、保育の内容、また実践事例や実技を通し、保育の方法を学習する。	2前	30			○		○				
○			社会的養護内容	社会的養護における子どもの権利擁護や保育士をはじめとした児童福祉専門職の倫理について学ぶ。	2後	15			○		○				
○			社会的養護内容Ⅱ	各施設等が個々の養護ニーズを踏まえ、自立支援計画に基づいて、児童の家族や地域と連携して日々実践している児童養護の実際について具体的に事例を通して、児童福祉専門職に何が求められているかを学ぶ。	2前	15			○		○				○
○			発達心理学	保育実践にかかわる心理学の基礎知識を学ぶ。子どもの発達を理解し、子どもが人との相互的にかかわりで成長していくことを理解する。	2後	30			○		○				
○			小児保健実習	身近な怪我や疾患、事故に対して適切な応急処置及び救急処置に対応できる技能を習得する。	2後	15					○	○			○
合計					71科目			2515単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

次の項目を全て満たすこと

- ・必修62科目、1930時間を履修すること
- ・卒業基準検定を合格（エクセル検定3級・秘書検定3級いずれか一つ合格）
- ・出席率90%以上
- ・科目の成績評価が全てC以上